

## 弘前大学大学院医学研究科救急・災害医学講座 教育・研究組織に関する提言

### 1. 講座のあり方と方向性

弘前大学大学院医学研究科救急・災害医学講座は、青森県における救急医療・災害医療の中核的担い手として、救急医学及び災害医学に関わる教育と高度な専門的医療を行い、当該分野の発展に寄与することを目的とする。また、青森県は原子力関連施設が複数設置されている県でもあることから、引き続き、被ばく医療総合研究所と協力し、被ばく医療にも積極的に取り組むこととする。

そのためには、先端的かつ国際的な研究を推進することが求められ、また、人材の確保に努める必要がある。

### 2. 診療

本学附属病院における診療の中核となり、先進的医療を実践するとともに、他の診療科との強力な連携の下、高度救命救急センターにおいて救急医療・災害医療及び被ばく医療を推進することが求められる。

### 3. 教育

卒前・卒後教育の全ての面で積極的に携わることが求められる。

### 4. 研究

上記の診療・教育に関連した臨床的、基礎的研究を推進していくことが求められる。

### 5. 社会活動

地域医療に対して積極的に貢献することが求められる。

### 6. その他

弘前大学大学院医学研究科救急・災害医学講座の構成員として第一に求められるものは、卓越した臨床能力と、それを追求する真摯な姿勢である。特に、教授候補者には、附属病院高度救命救急センター長として、附属病院における救急医療の指導的役割を果たすことのできる人物、更には、講座及び高度救命救急センターの機能充実を果たすことのできる人物が求められる。

なお、地域における救急科専門医の確保及び育成の観点から、教授候補者は日本救急医学会指導医であることが望ましい。

平成30年 6月27日

弘前大学教育研究院医学系  
臨床医学領域（救急・災害医学講座）教授候補者選考委員会

委員長	澤村大輔
委員	富田泰史
委員	福田幾夫
委員	石橋恭之
委員	大熊洋揮
委員	鬼島宏
委員	高橋識志
委員	若林孝一
委員	上野伸哉
委員	福田眞作